

学べる場を提供します

- ・医師をはじめ職員が地域へ出向き専門的な情報を提供

▶健康に役立つ行事を継続して行います

- ・「ヘルスアップチャレンジ」「大腸がんチェック」「健康料理教室」などの開催

▶認知症対策を地域でひろげサポーターを増やします

- ・全支部で認知症予防の「脳いきいきクラブ」の開催。「脳いきいきだより」定期発行、「オレンジリング作戦」では見守り活動やサポーター交流会の開催検討

▶HPH活動を継続します

- ・居場所マップづくりの拡大や健康ニュース対話率の把握と向上

▶地域団体や自治体との連携をすすめます

- ・コープこうべ、あんしんすこやかセンターや老人会など地域諸団体と連携した企画

共和会との共同を発展させるために

▶職員と日常の組織活動へ参加協力体制をすすめます

- ・班会や医療懇談会、健康チェックや訪問行動、秋の組織強化月間の成功

▶私たちの病院のリニューアルに向けた増資運動に取り組みます

- ・増資運動と、みんなで作る病院づくり（集える場づくり等）の要望集め

▶11月に開催する「健康まつり」を成功させます

- ・開催形態の工夫も含めた、健康まつりの成功

▶「新入職員オリエンテーション」や「いつでも元気交流会」などを取り組みます

- ・職員が互助組合を知る場づくり、組合員と交流できる場づくり

▶各支部と事業所が協力して行事に取り組みます

- ・「盆踊り」「もちつき」など

平和憲法と社会保障をまもるために

▶憲法9条3000万署名と改憲阻止、核兵器廃絶と

原発ゼロに取り組みます

- ・班会や医療懇談会で社保平和の課題をテーマに対話で広げる

▶社会保障制度の充実と消費税10%増税を許さないたたかいをすすめます

- ・75歳以上の2割負担化阻止など患者／利用者負担増の阻止運動

- ・社保協とも連動して高い国保料や窓口負担の改善、医療／介護などの住民要求を届ける活動

- ・「総合事業」や「認知症」対策への対応

▶様々な要求実現のための各団体のセンター機能を担います

- ・互助組合が各種要求運動の橋渡し役が担える体制づくり

▶自然災害などへの防災対策とまちづくりに取り組みます

- ・防災のための学習や行政への要求など

▶統一地方選や参議院選挙をとおしての世直し運動をすすめます

- ・4月の統一地方選、7月の参議院選挙



2018年9月22日 組織強化月間スタートダッシュ集会

基本課題（目標）

| | |
|-----------------------|--------------|
| ■仲間ふやし | 1000件 |
| ■出資金 | 5000件 |
| 増資1億円（純増で5000万円） | |
| ■いつでも元気 | 450部 |
| ■世話人づくり（運営委員や配達協力者など） | 組合員50人に対して1人 |

東神戸医療互助組合

2019年度総代会方針(案)

スローガン

- ▶9条改憲阻止と社会保障の解体を許さず、憲法25条（生存権）を守り、活かそう
- ▶“なんでも相談”活動を広げ、“居場所づくり”を活発にし、互助組合の存在価値を高めよう！
- ▶声をかけあい“お世話がかり（世話人）”を多数組織し、一人ぼっちの組合員をなくし、仲間づくりで安心して住み続けられるまちづくりに取り組もう！

はじめに

阪神淡路大震災から24年が経ちました。2018年度は台風など多くの異常気象による災害に悩まされ防災の重要性を再認識させられる1年となりました。情勢では、安倍政権によるモリカケ問題以降も続く、政府主導の隠ぺい、改ざん体質と沖縄辺野古基地建設にみられるような国民の民意を無視する排除主義的な姿勢が続いています。今後、改憲発議の危険性がさらに高まり、「1億総活躍社会」や「全世代型社会保障」の名の下に、社会保障の切り捨てや消費税10%増税が進められようとしており、私たちがめざす「安心して住み続けられるまちづくり」を進める上で重要な局面となっています。

今年度は、夏の国政選挙も控えています。真実をしっかりと見極め、私たちが安心してこのまちで、この国で暮らすために、意思表示を示すとともに、地域との連携と共同で、だれもがやりがいを持ち、生き生きと暮らせるまちづくりを推進させましょう。



2019年4月11日 北神支部お花見会

第43回総代会会場のご案内

6月2日(日)
午前 9時30分開場
10時00分開始

ばしょ 勤労会館7F 大ホール
☎ (078) 232-1881
市営地下鉄、JR、阪急、阪神、ポートライナーの各三宮駅から東に徒歩5分

2018年度のまとめ

平和と社会保障をまもる取り組み

- ▶「憲法9条3000万人署名」の取り組みでは、署名数は7600筆を超えました。社保委員会による毎月定例の駅頭宣伝や街頭宣伝、ローラー作戦を実施。市民アクションや憲法共同センター、革新懇などとも協力し改憲阻止まで運動を継続し署名目標達成と運動の輪を広げます。
- ▶「平和を守るとりくみ」
6月に沖縄平和ツアーを実施（8人参加）。沖縄辺野古基地反対のために、県知事選支援や県民投票支援を行い、民意の勝利に貢献しました。また、被爆者国際署名にも取り組み、7月の平和行進や8月の原水禁世界大会に参加者を送り出しました。世界大会壮行会も63人の参加で成功させました。
- ▶「憲法25条と社会保障」の取り組み
「75歳以上2割化反対」や「消費税10%増税中止」の署名に取り組み、高すぎる国保料や、生活保護の引き下げ、介護保険の改悪にも地域社協と協力して改善運動に取り組みました。
- ▶地域住民運動では、「神鋼火力発電建設反対」運動に取り組み、「東灘NO₂カプセル調査」にも参加しました。また、「震災借り上げ復興住宅」支援運動にも参加し、自災害を含めた「防災」の重要性を認識し、行政への改善運動にも取り組みました。

健康づくりと保健予防活動

- ▶健康チェックは新たな「フレイルチェック」を取り入れ、「足指力チェッカー」を購入し、新しい取り組みが人気となりました。
- ▶今年度は久々に「組合員日曜健診」を実施し41人が受診。「大腸がんチェック」3月末時点で218件を超える判定を実施しています。
- ▶「インフルエンザ予防接種」の助成は昨年より

増額し2000円にしたところ428件の助成申請があり、72件の加入がありました。

- ▶「ヘルスアップチャレンジ」は103の参加で77人が達成。「10/7ウォークイベント」では尼崎寺町の歴史散策を実施し17人が参加。「12/1健康料理教室」は飾り巻き寿司をつくり22人が参加しました。
- ▶認知症予防は9支部12クラブが活動。インストラクター養成講座は36人が参加で加入も3件。健康ニュースに合わせて「脳いきいきだより」を発行しました。
- ▶「HPH活動」では、病院と共に居場所マップの普及や映画会などの企画に参加しました。



安心して住み続けられるまちづくり

- ▶「居場所づくり」は4月に兵庫支部で6つ目の居場所「うなご丘サロン」を開設。各居場所で、喫茶や映画会、囲碁将棋や手芸などを開催し、地域住民の拠りどころとなる取り組みを行いました。
- ▶「ボランティア活動」では傾聴学習会の継続や園芸ボランティア不足へのサポート。居場所をはじめ幅広く活躍。視覚障害の学習会や慰労会を開催しました。
- ▶街づくりの取り組みでは、神戸市「都市空間向上計画」に対して、都市部への一極集中化による弊害などを学習会しパブリックコメントへ参加するなど、集中化反対への運動に取り組みました。また、駅のエレベーター設置運動や歩道橋設置運動などにも取り組みました。
- ▶「あんしんすこやかセンター」とも連携し、地域交流会への参加や班会へ出席してもらうなど

交流を深めました。

共同組織の強化発展

- ▶神奈川県で行われた第17回全国共同組織活動交流集會に11人の代表を送りだし、全国の先駆的な取り組みを共有する事が出来ました。
- ▶基本課題の仲間ふやしと出資純増は目標には達せずも前年を超過達成しました。増資額では目標の1億円を突破しました。
- ▶いつでも元気の普及は一時は380台に減ったものの、400部近くまで回復しました。
- ▶2月に行われた運営委員の交流会では約40人が参加し健康チェックや健康診断の意義を学びました。
- ▶機関紙広報活動の充実にも取り組み、「健康ニュース」では「おたよりポスト」など年間790通の声が届けられ、11月には全支部の班会行事一覧を掲載しました。「支部ニュース」を総代

会や月間ダッシュ集會で交流する事が出来ました。「ホームページ」の有効活用は今後の課題です。配達協力者の手配り部数の負担軽減も課題です。

共和会との共同の取り組み

- ▶秋の組織強化月間では、班会や懇談会、健康チェックに多くの職員が参加しました。
- ▶第12回「医局との懇談会」を3月に開催し、30人を超える参加で医師と懇談を行いました。
- ▶病院利用委員会を中心に、院内ラウンドや投書箱（月2回）、外来アンケート調査をとおして、患者の声を病院へ届けました。
- ▶野の花利用委員会を中心に、野の花サロンの管理を進めました。
- ▶新入職員オリエンテーションに参加し職員の組合員拡大を進めました。

2019年度方針

共同組織の力を発展させるために

- ▶やりがいと楽しさを感じる互助組合活動づくりをすすめます
・携わる人々が互助組合に、やり甲斐と生き甲斐を感じる活動づくり
- ▶支部役員などの「世話人さがし」と「後継者づくり」の強化をすすめます
・新しい担い手が集まる居場所づくり、訪問行動など地域ごとの戦略づくり
- ▶「居場所づくり」と「1支部1助け合い運動」を継続します
・各支部で地域要求に基づくボランティア活動や安否確認などの取り組み。班会等を含めた「居場所」の典型づくり。
- ▶各支部の運営委員の学習や経験交流の場をつくり

- ・運営委員の交流と活動向上のための学習企画
- ▶広報活動を強化し、ニュースやホームページの充実で情報発信をすすめます
・より見やすく、活動が伝わりやすい広報の工夫
- ▶互助組合員名簿の整備をすすめます
・転居先不明の整備をはじめ、組合員名簿の管理強化

健康づくりと保健予防活動でまちづくりを発展させるために

- ▶健康チェックや組合員健診の意義と活動をさらに地域で広げます
・乳がん／胃がん／肺がん等の制度健診普及とフレイルチェックや新たな健康チェックの実施、神戸市認知症検診の普及
- ▶医療懇談会や班会をとおして医療や介護などを